

家族を守る！ 新型インフルエンザ対策

今、世界中で、毒性の強い鳥インフルエンザ(H5N1型)が鳥から人に感染する事例が増え、人から人へと感染しやすい形に変異をとげた「新型インフルエンザ」の発生が危惧されています。「新型インフルエンザ」がいったん発生してしまつと、免疫を持っていないため、ごく短期間で世界中に広まり、大きな被害をもたらす可能性があります。

被害を最小限度にするには、国や自治体、企業における対策はもろろんのこと、個人や家庭での対策が大切です。まずは正しい知識を持ち、発生したときにも落ち着いた対応ができるよう準備をしておきましょう。

新型インフルエンザとは

毒性が非常に強い鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)の感染が世界中の鳥類に拡大し、だんだんと人に感染しやすいように変異していることが確認されています。このように従来は人に感染することがなかったウイルスが変化し、人から人へと容易に感染するようになったインフルエンザを「新型インフルエンザ」と呼んでいます。

新型インフルエンザが発生した場合、基本的に全ての人が、そのウイルスに対して抵抗力(免疫)をもっていないため、人へ感染した場合は、致死率が60%を超えと言われており、特に10代、20代における致死率が高くなると言われています。

普通のかぜとの違いは

普通のかぜの症状は、

○のどの痛み、鼻汁

○くしゃみ、咳

などが中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど

高くなく、重症化することはほとんどありません。

一方、新型インフルエンザの初期症状は、次のとおり想定されています。

○38℃以上の発熱

○強い倦怠感、関節痛、筋肉痛

○腹痛や下痢

新型インフルエンザで想定される被害

新型インフルエンザに対しては、誰も免疫を持っていないうえに、現在、世界中で人の往来があります。そのため、世界のどこかで新型インフルエンザが発生すると、短期間で広がる可能性があります。

想定される被害状況(世界的大流行(パндеミック)となった場合)

○数千万人の患者が発生し、医療機関に殺到します。また、医療関係者も

感染し、医療サービスが低下します。

○ライフライン従事者の発症により社会機能が低下します。

○行政機能が限定され、警察、消防などの人員が不足します。

○食料品などの流通がストップし、日常生活に支障をきたします。

厚生労働省の試算による
日本での想定される被害

人口	1億2,700万人
罹患者数	3,200万人
入院	53～200万人
死者数	17～64万人

※条件によっては、罹患者数、死者数ともに更に高くなる可能性もあります。

大正7年(1918年)に「スペインインフルエンザ」、昭和32年(1957年)に「アジアインフルエンザ」、昭和43年(1968年)に「香港インフルエンザ」、昭和52年(1977年)に「ソ連インフルエンザ」が流行しています。これらはいずれも世界的に流行し、多くの死亡者(例えば「スペインインフルエンザ」では、世界中で約4000万人、日本では約39万人が死亡)を出しました。なお、過去の例を見ても、流行の季節は冬とは限りません。

「予防」にはワクチン接種

新型インフルエンザを予防するには、ワクチン接種が最も有効とされています。ワクチンの種類

○プレパンデミックワクチン

新型インフルエンザ流行前に予測して作ったワクチンです。H5N1型鳥インフルエンザウイルスから製造されます。発病を完全に防ぐことはできませんが、重症化を防ぐことが期待されています。

○パンデミックワクチン

新型インフルエンザ発生後にそのウイルスで製造するワクチンです(新型インフルエンザが発生しないと製造できません)。

「治療」には抗インフルエンザ薬が有効

新型インフルエンザの治療には、抗インフルエンザ薬(タミフル・リレンザ)が有効とされていますが、特效薬ではありません。ウイルスの増殖を防ぐ薬であるため、発症後なるべく早く服用することが大事です。

抗インフルエンザ薬の種類

○タミフル

体の中のウイルスが増殖するのを防ぎます。発症後早く服用するほど効果が高く、48時間以内に服用を開始しないと効果が低くなります。

○リレンザ

専用の吸入器を必要とする薬で、タミフルと同様にインフルエンザウイルスの増殖を防ぎます。下痢を起こしている場合やウイルスがタミフルに耐性を持つなど、タミフルの効果が期待できない場合に使用します。

新型インフルエンザ発生時の防衛策

新型インフルエンザの世界的大流行の恐ろしい点は、同時期に大量の患者が発生し、医療機関や社会活動が麻痺してしまい、被害が拡大してしまうことです。一人ひとりが感染防止に努め、感染拡大をできるだけ遅らせていくことが被害規模の縮小につながります。